



2009年3月期 第2四半期決算説明会

2008年11月27日

リバーエレクトック株式会社

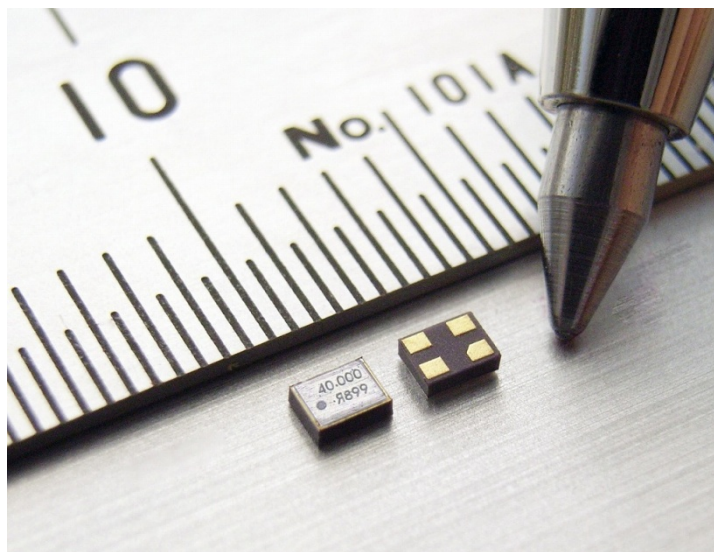
(証券コード：6666 JASDAQ)

2009年3月期 第2四半期決算概要

2009年3月期 通期業績予想

(ご参考) 会社概要・事業の特徴

2009年3月期 第2四半期決算概要



◆ 売上高は3,591百万円（前年同期比28.2%減）と大幅な減収

- ◇ 全セグメントにおいて減収となり、売上高の9割以上を占める水晶製品では、前年同期比28.9%減

◆ 利益はコスト削減を図るも、売上高減少の影響が大きく損失を計上

- ◇ 営業損失は47百万円（前年同期は711百万円の営業利益）

⇒ 売上原価率は前年同期比12.2ポイント上昇

⇒ 販管費は労務費を中心に減少（前年同期比14.8%減）するも、売上高販管費率は前年同期比3.3ポイント上昇

- ◇ 経常損失は29百万円（前年同期は716百万円の経常利益）

- ◇ 四半期損失は242百万円（前年同期は410百万円の間接純利益）

⇒ たな卸資産評価損42百万円、貸倒引当金繰入額87百万円の特別損失を計上

◆ 通期業績計画を下方修正

- ◇ 通期売上高を6,770百万円、営業損失を680百万円に修正

	前年同期 (百万円)	2009年3月期 第2四半期実績				
		期初計画 (百万円)	金額 (百万円)	前年同期比		期初計画比
				増減額 (百万円)	増減比 (%)	増減比 (%)
売上高	5,000	4,220	3,591	▲1,408	▲28.2	▲14.9
売上総利益	1,604	866	713	▲890	▲55.5	▲17.6
利益率	32.1%	20.5%	19.9%			
営業利益（損失）	711	22	▲47	▲758	—	—
利益率	14.2%	0.5%	▲1.3%			
経常利益（損失）	716	12	▲29	▲745	—	—
利益率	14.3%	0.3%	▲0.8%			
四半期(中間) 純利益（損失）	410	12	▲242	▲652	—	—
利益率	8.2%	0.3%	▲6.7%			
E P S	54.85円	1.65円	▲32.31円	—	—	—

		前年同期		2009年3月期 第2四半期実績			
		金額		金額		増減額 (百万円)	増減比 (%)
		(百万円)	構成比 (%)	(百万円)	構成比 (%)		
	水晶製品	4,672	93.4	3,323	92.5	▲1,349	▲28.9
	抵抗器	177	3.6	131	3.6	▲46	▲26.1
	インダクタ	98	2.0	95	2.7	▲2	▲3.0
	その他	51	1.0	42	1.2	▲9	▲18.3
連結		5,000	100.0	3,591	100.0	▲1,408	▲28.2

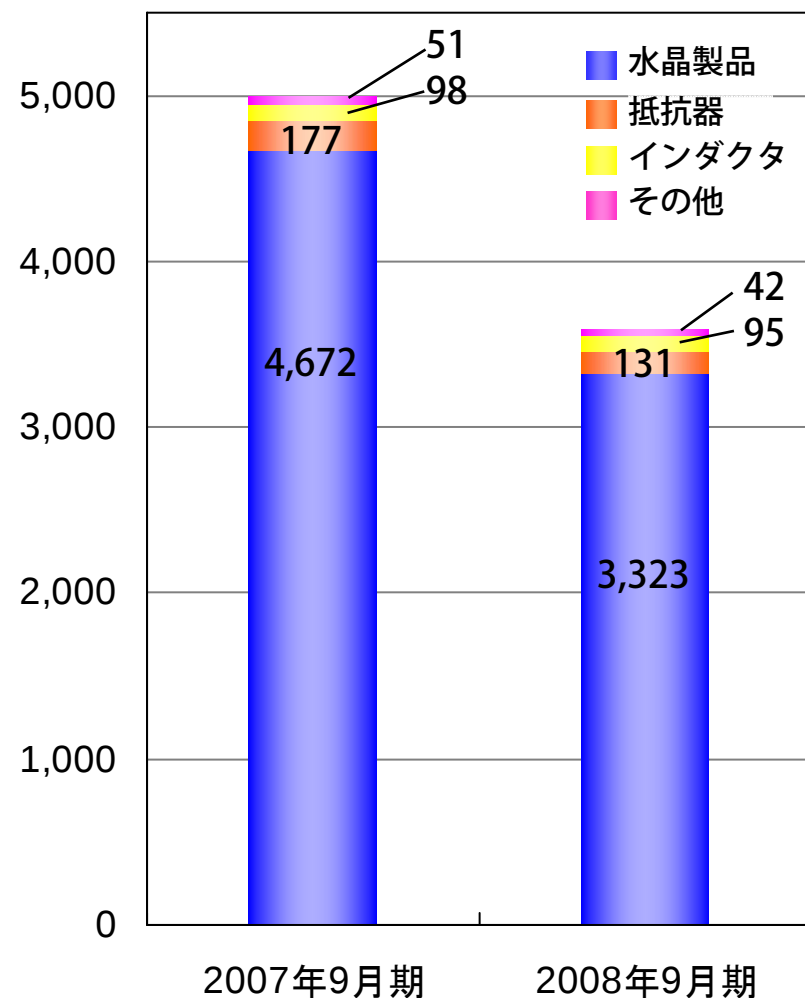
事業の種類別セグメント営業利益

		前年同期		2009年3月期 第2四半期実績			
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減比 (%)
	水晶製品	1,223	99.0	356	88.8	▲866	▲70.9
	利益率	26.2%		10.7%			
	抵抗器	23	1.9	21	5.3	▲1	▲7.5
	利益率	13.0%		16.2%			
	インダクタ	11	1.0	8	2.0	▲3	▲31.9
	利益率	12.0%		8.4%			
	その他	▲23	▲1.9	15	8	38	—
	利益率	▲44.8%		36.2%			
	計	1,234	100.0	400	100.0	▲834	▲67.5
	利益率	24.7%		11.2%			
全社又は消去		▲523	—	▲448	—	75	—
連結		711	—	▲47	—	▲758	—
利益率		14.2%		▲1.3%			

事業の種類別セグメント収益グラフ

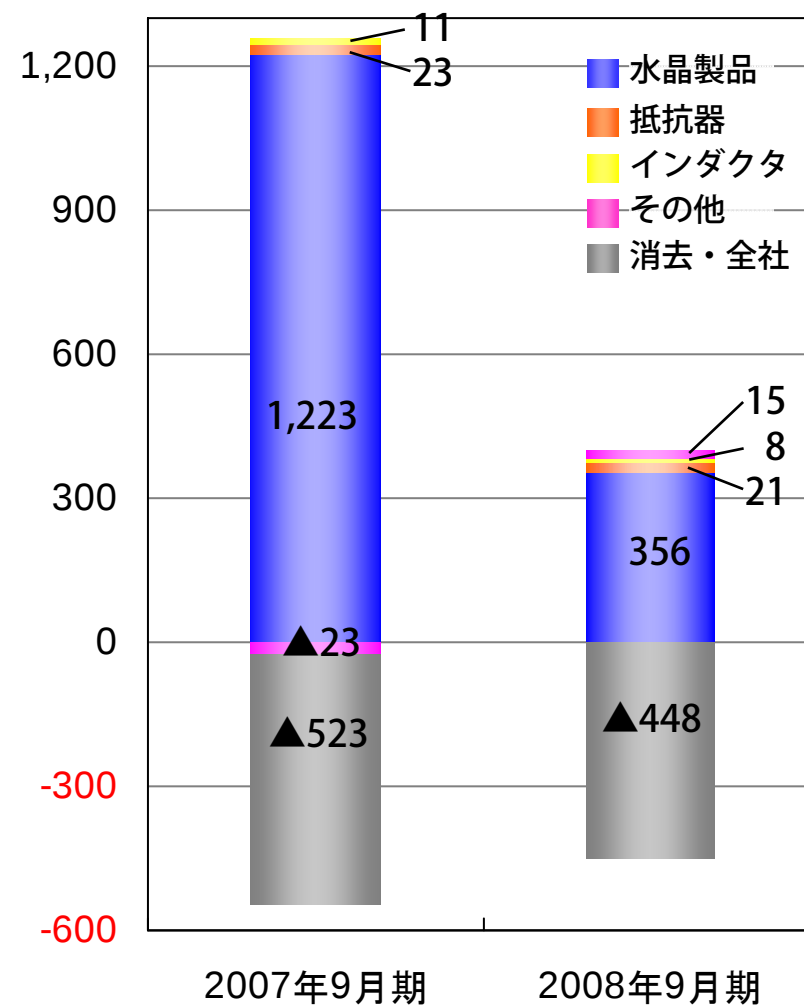
売上高

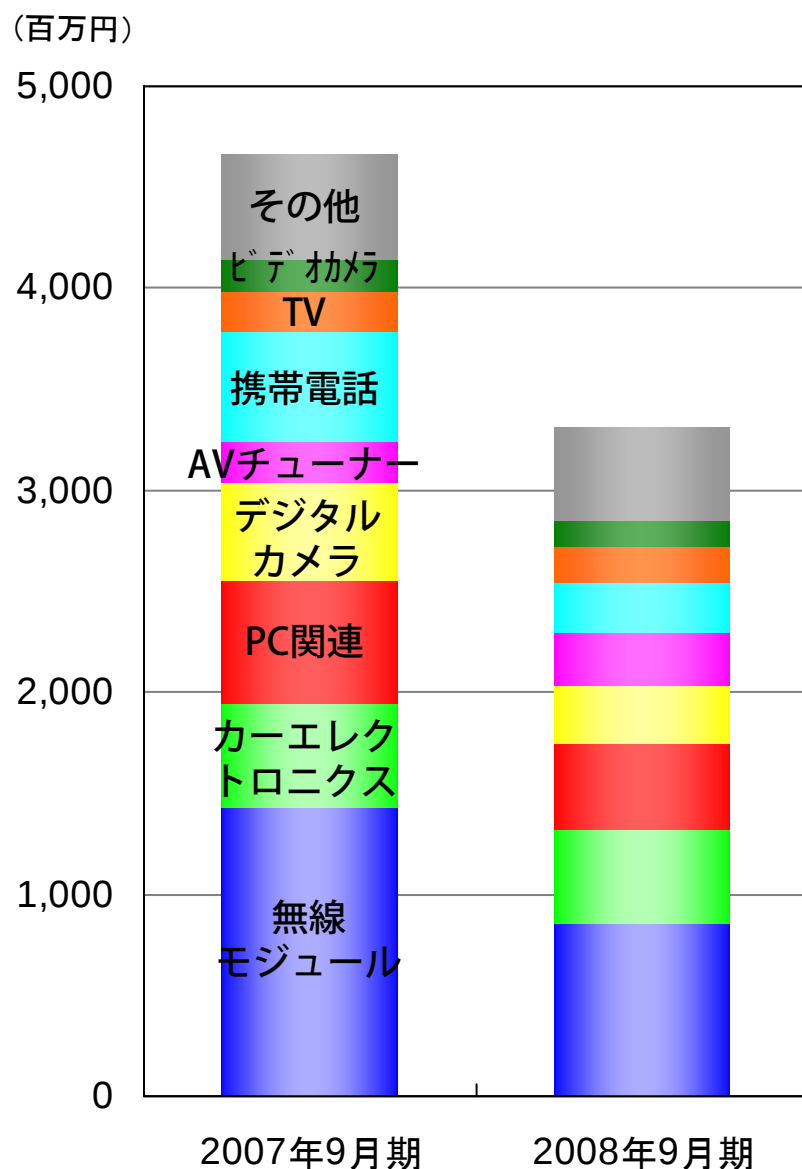
(百万円)



営業利益

(百万円)





- 無線モジュール、携帯電話は数量、価格両要因による減少
- デジタルカメラは主として数量要因による減少
- AVチューナーは、主として数量要因による増加

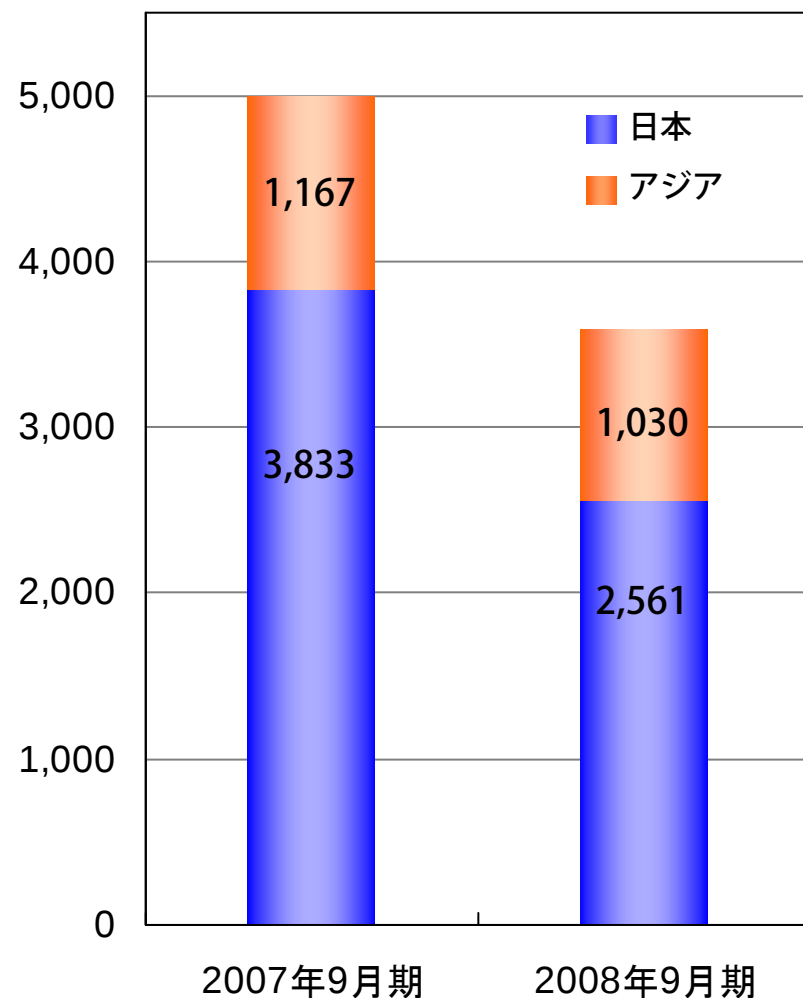
売上高構成比

	2007年9月期	2008年9月期
無線モジュール	30.5%	25.8%
カーエレクトロニクス	11.0%	14.1%
P C ・ 周 辺 機 器	13.1%	12.7%
デ ジ タ ル カ メ ラ	10.5%	8.6%
A V チ ュ ー ナ ー	4.4%	7.9%
携 帯 電 話	11.6%	7.4%
フ ラ ッ ト T V	4.2%	5.4%
デ ジ タ ル ビ デ オ カ メ ラ	3.3%	3.9%
そ の 他	11.4%	14.2%

所在地別セグメント収益グラフ

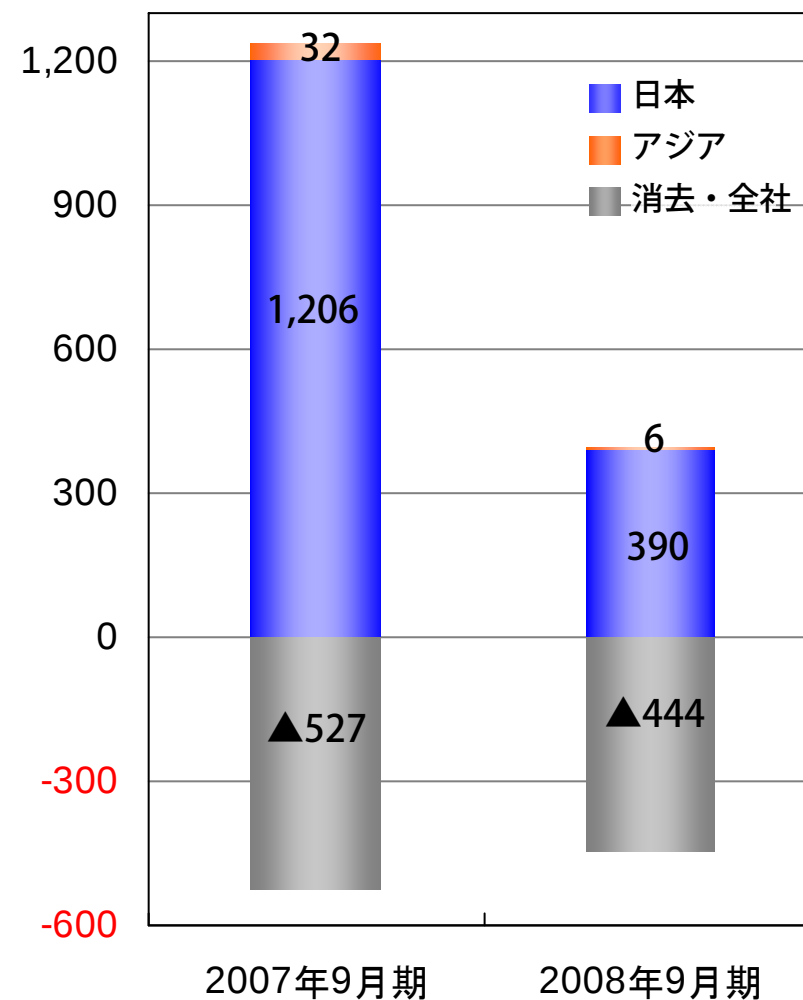
売上高

(百万円)



営業利益

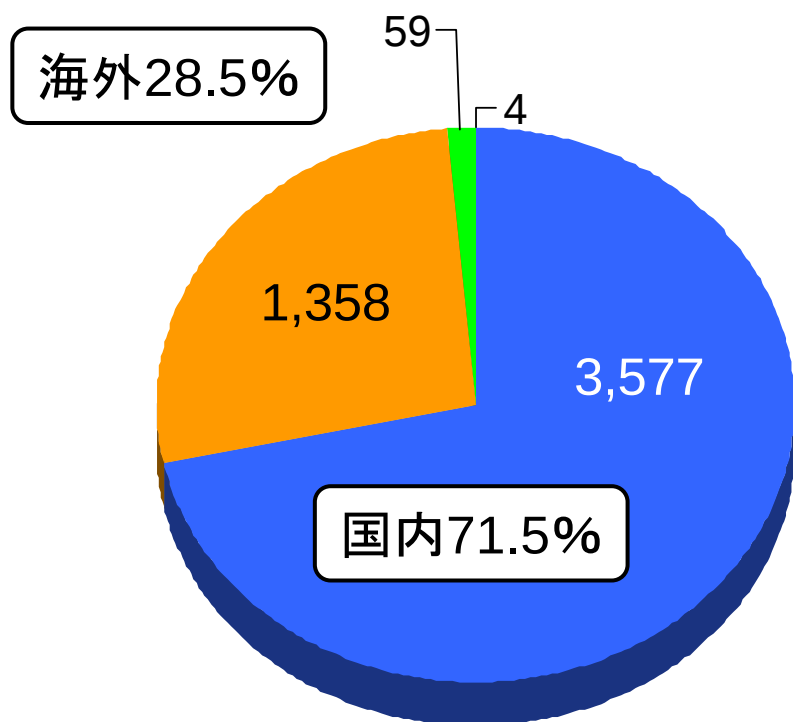
(百万円)



単位: 百万円

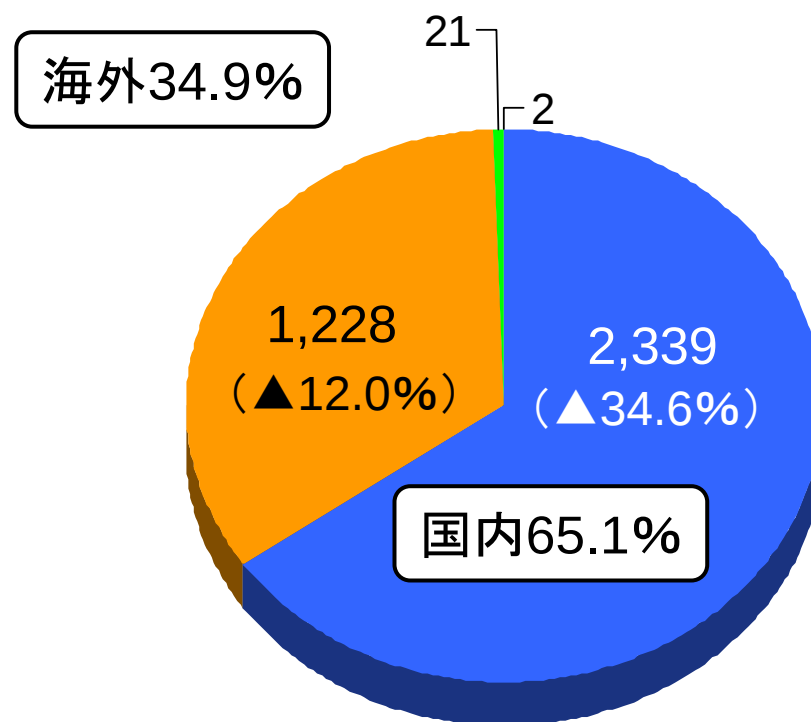
2007年9月期

■ 日本 ■ アジア ■ 北米 ■ その他

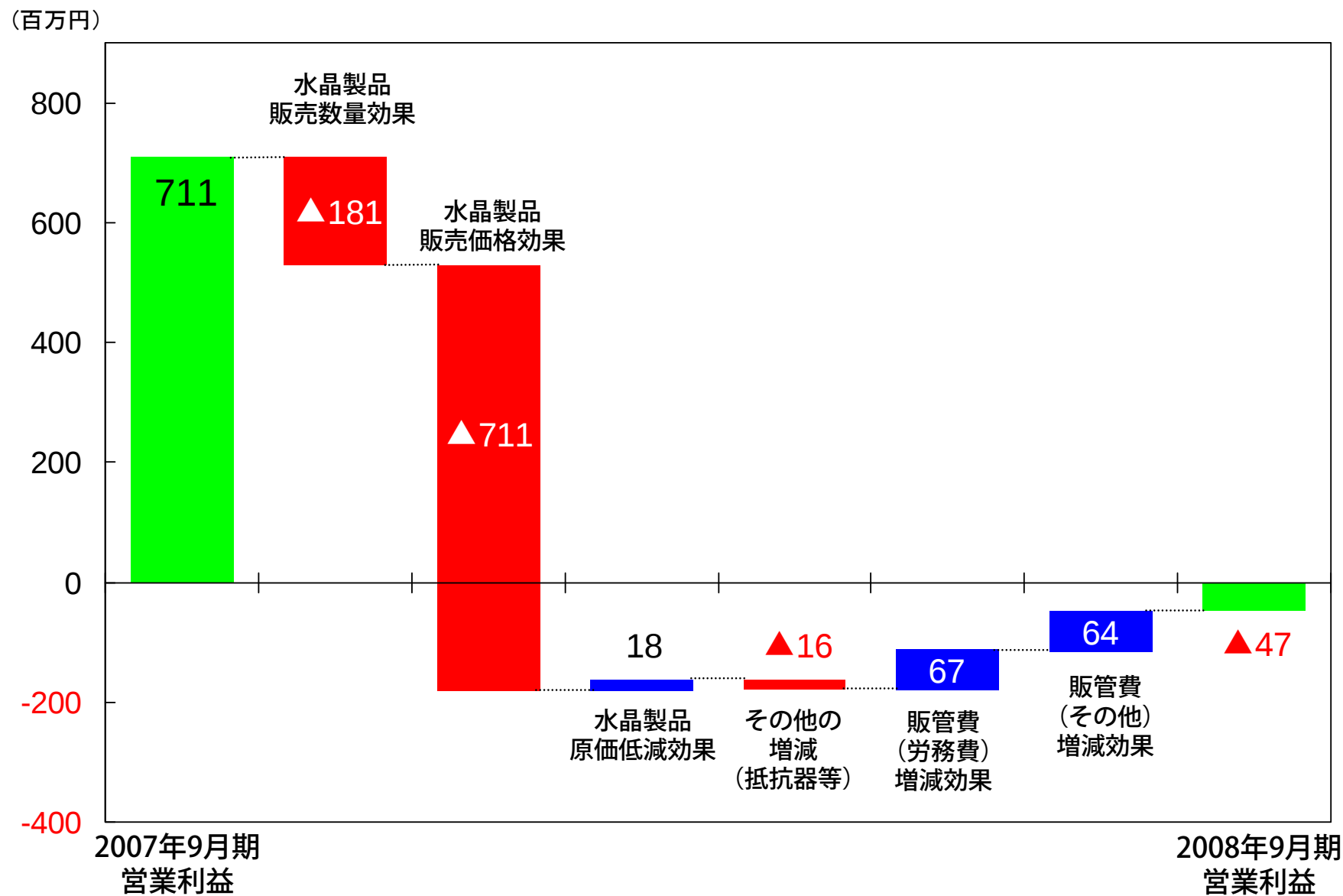


2008年9月期

■ 日本 ■ アジア ■ 北米 ■ その他



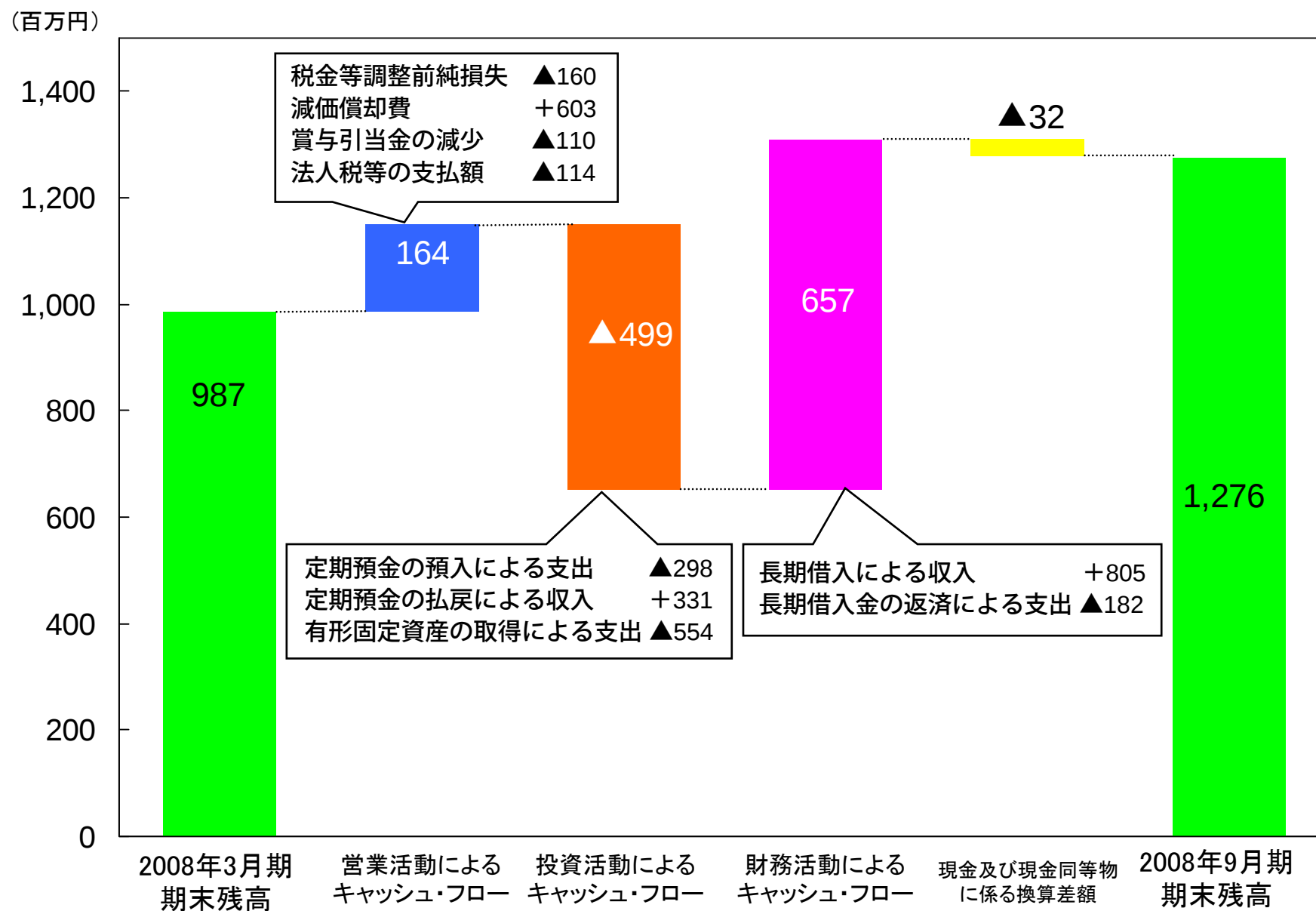
営業利益の増減要因



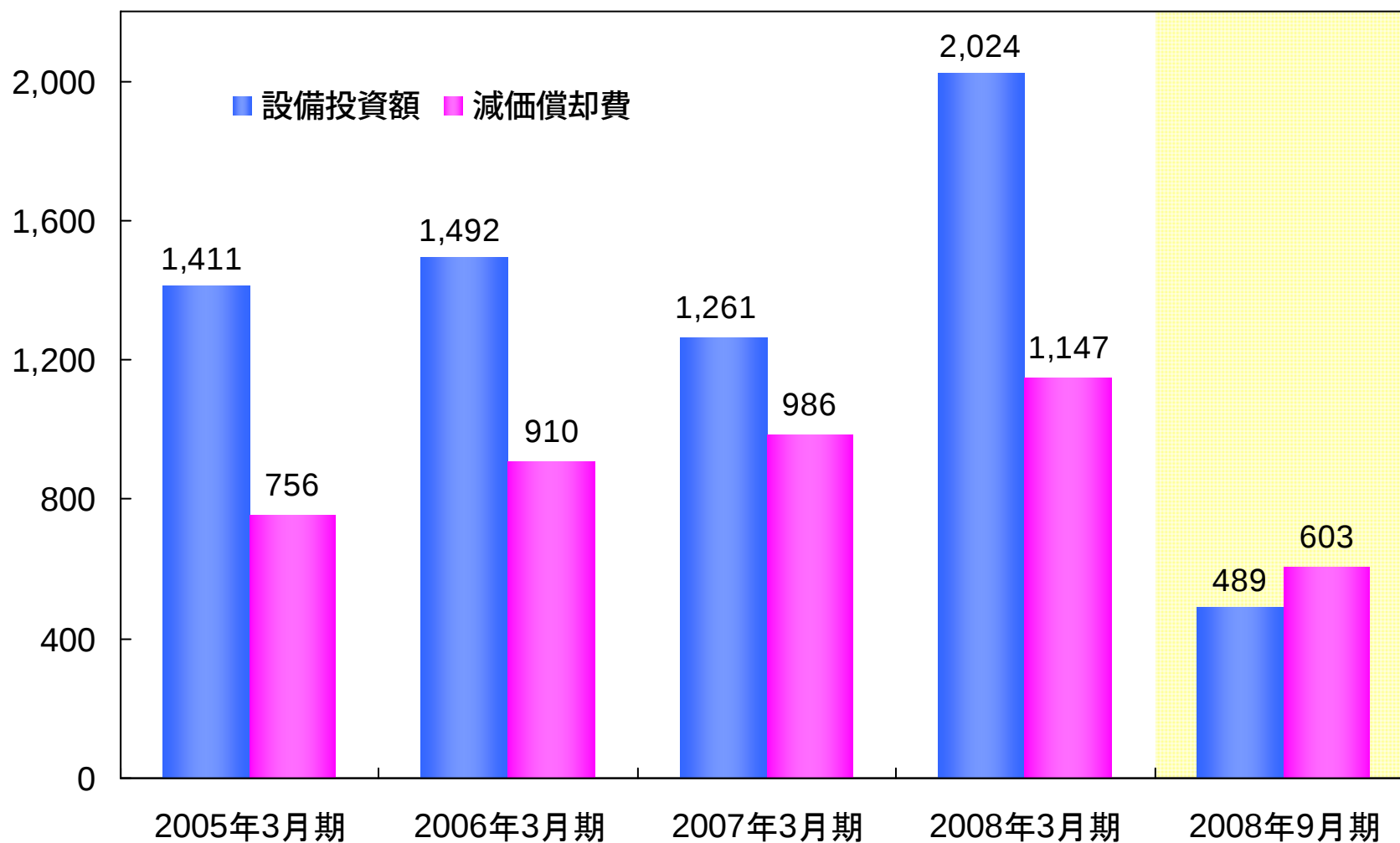
連結貸借対照表

(百万円)	2008年3月期	2008年9月期	増減額	増減要因
流動資産	5,185	5,424	238	現預金+241、売上債権-89
固定資産	7,289	7,024	▲264	機械装置-59、建設仮勘定-59
資産合計	12,474	12,448	▲25	
流動負債	3,113	3,047	▲66	短期借入金+224、賞与引当金-110、設備支手-121
固定負債	675	1,153	478	長期借入金+478
負債合計	3,788	4,200	412	
純資産合計	8,685	8,247	▲438	利益剰余金-323
負債、純資産合計	12,474	12,448	▲25	
自己資本	8,345	7,956	▲388	
減価償却費	1,147	603	—	
有利子負債	1,376	2,079	703	

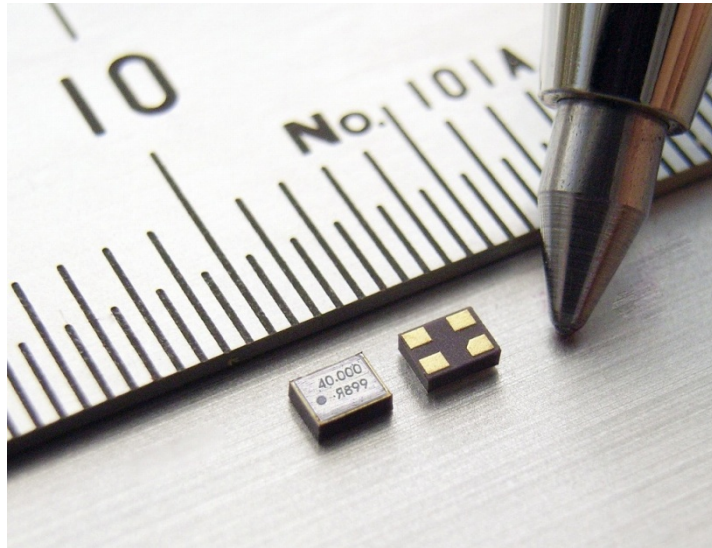
連結キャッシュ・フローの状況



(百万円)



2009年3月期 通期業績予想

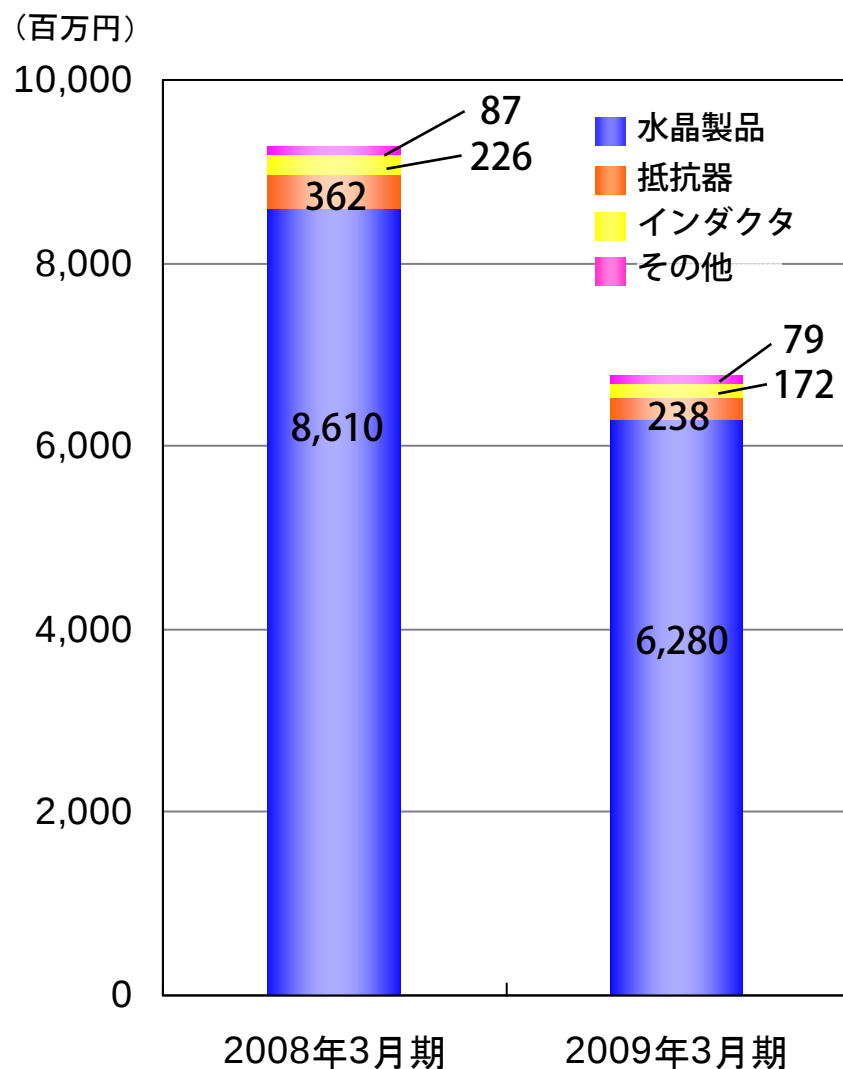


2009年3月期 通期業績予想（連結）

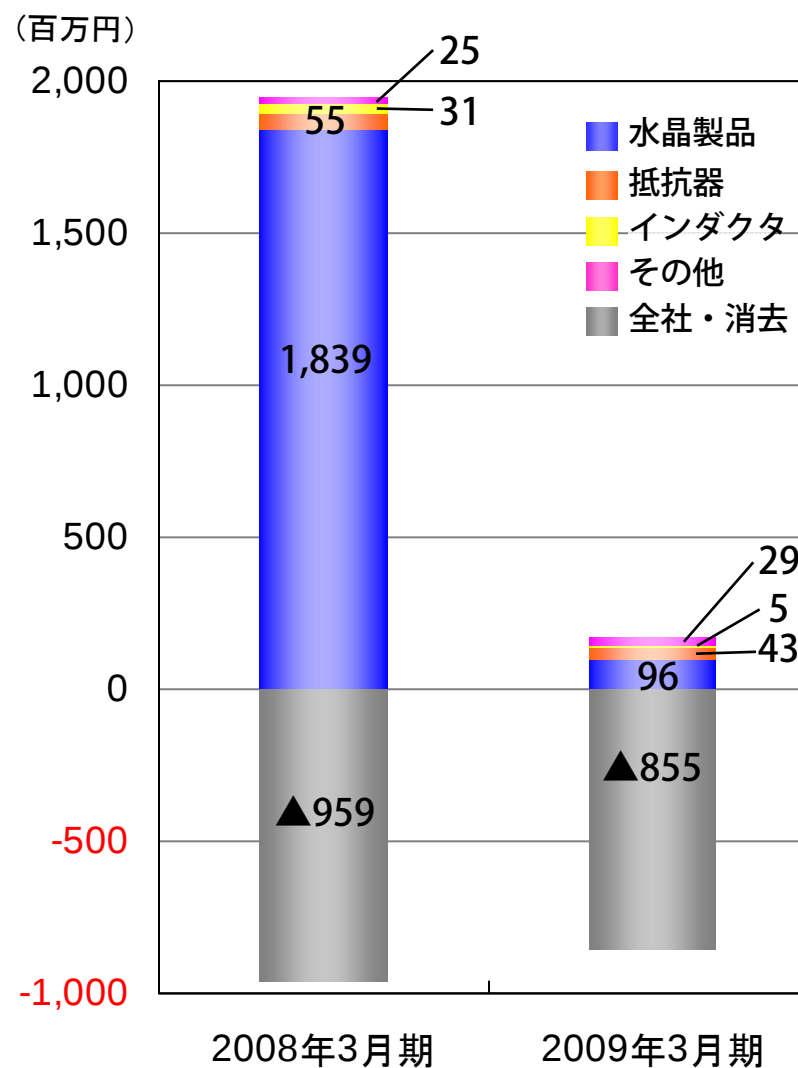
	前年実績 (百万円)	2009年3月期 通期業績予想				
		期初計画 (百万円)	金額 (百万円)	前期比		期初計画比
				増減額 (百万円)	増減比 (%)	増減比 (%)
売上高	9,287	9,254	6,770	▲2,516	▲27.1	▲26.8
売上総利益	2,695	2,186	797	▲1,898	▲70.4	▲63.5
売上総利益率	29.0%	23.6%	11.8%			
営業利益	992	493	▲680	▲1,673	—	—
営業利益率	10.7%	5.3%	▲10.1%			
経常利益	998	466	▲672	▲1,671	—	—
経常利益率	10.8%	5.0%	▲9.9%			
当期純利益	588	243	▲834	▲1,422	—	—
当期純利益率	6.3%	2.6%	▲12.3%			
E P S	78.51円	32.47円	▲111.39円	—	—	—

事業の種類別セグメント収益グラフ

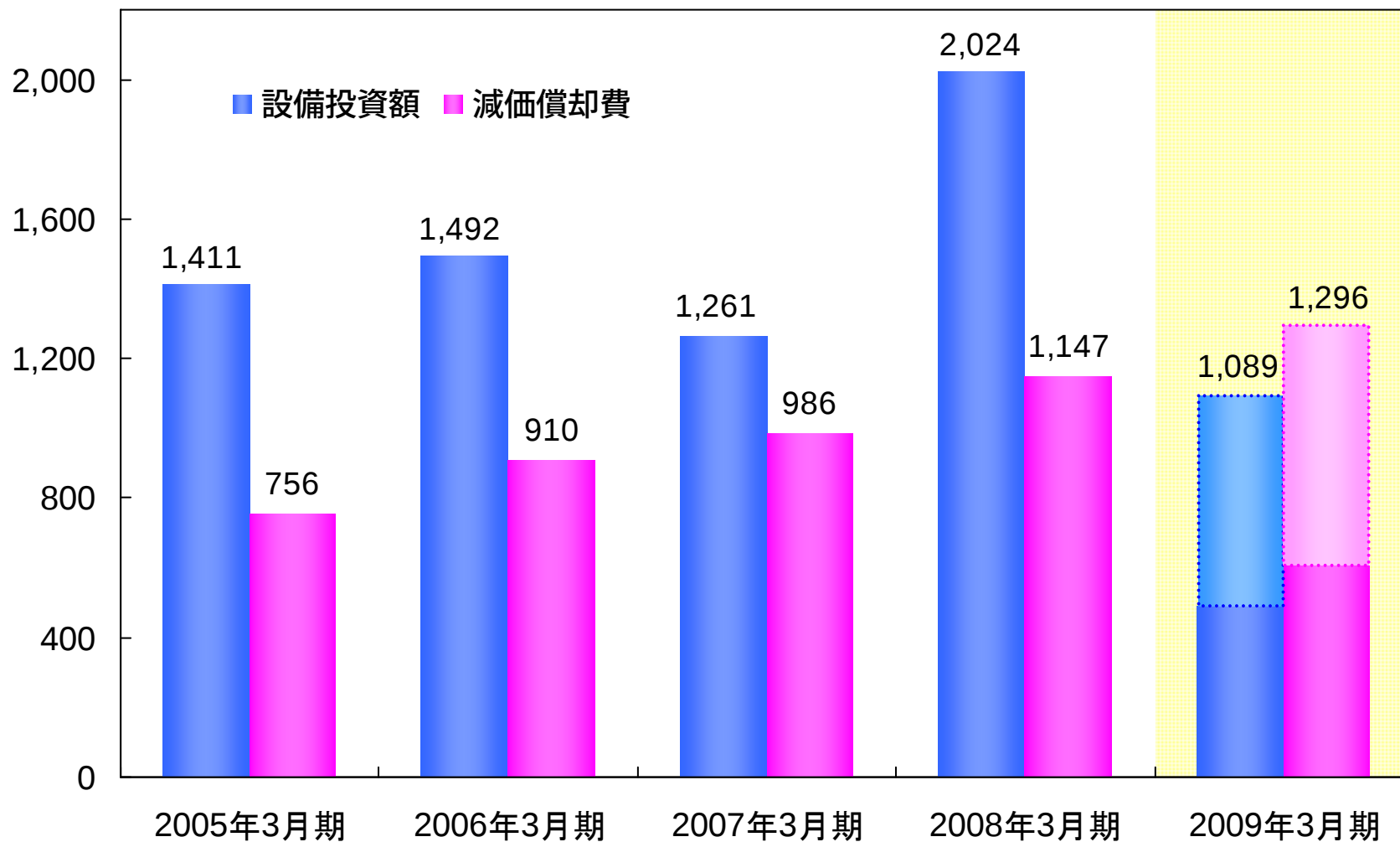
売上高



営業利益

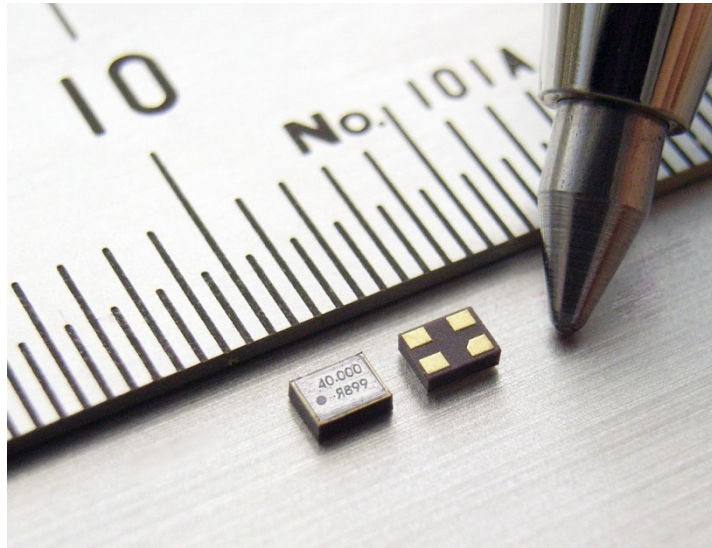


(百万円)



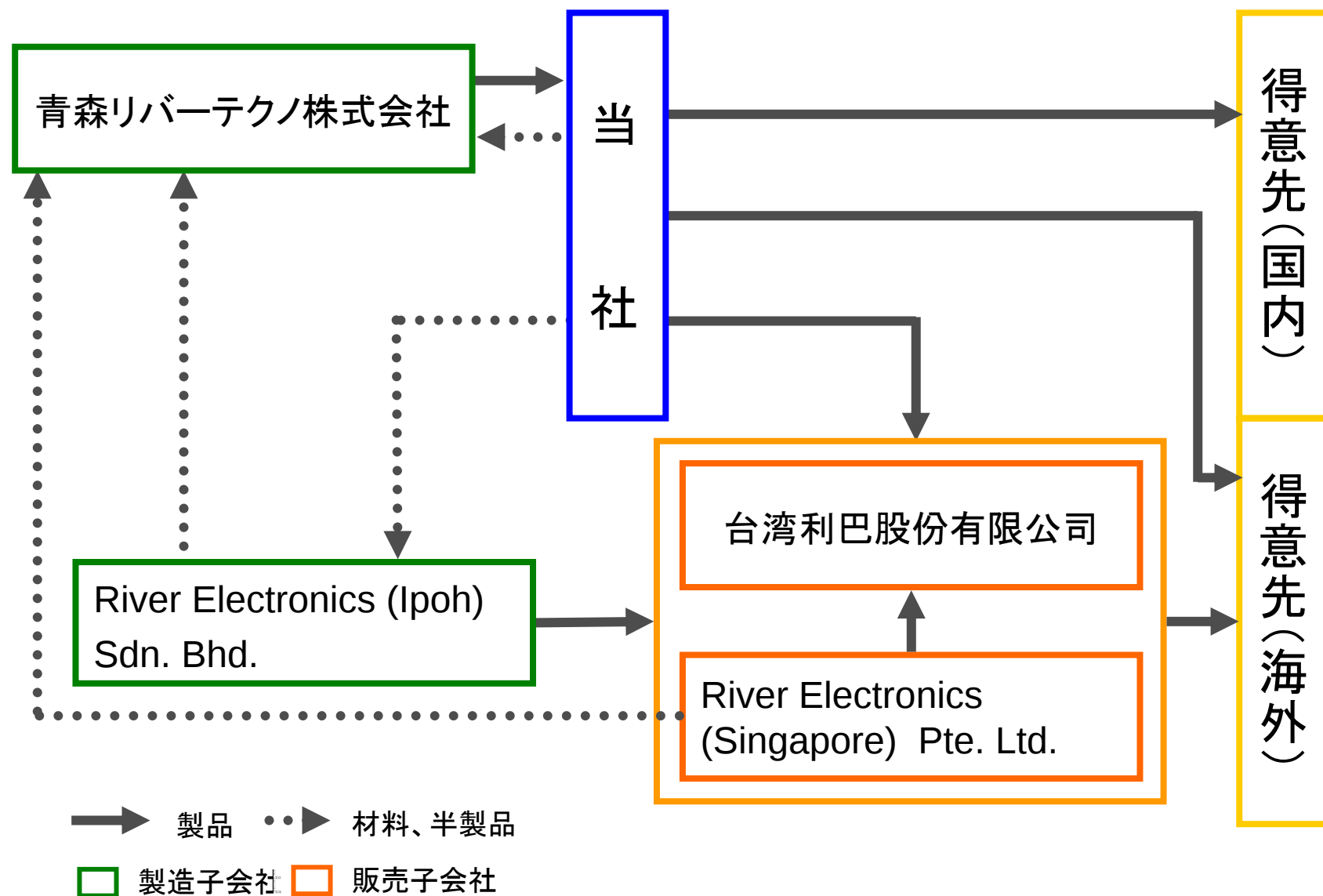
(ご参考)

会社概要・事業の特徴



- 社 名：リバーエレテック株式会社
- 所 在 地：山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1-11
- 設 立：1951年3月9日
- 事 業 内 容：電子部品の製造販売
- 資 本 金：1,070百万円
- 単 元 株 式 数：100株
- 売 上 高：9,287百万円／8,567百万円（連／単、2008年3月期）
- 営 業 利 益：992百万円／832百万円（連／単、2008年3月期）
- 社 員：383（445）人／117（6）人（連／単、（ ）は契約社員等）
- グループ会社：青森リバーテクノ株式会社
River Electronics (Singapore) Pte. Ltd.
River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.
台湾利巴股份有限公司



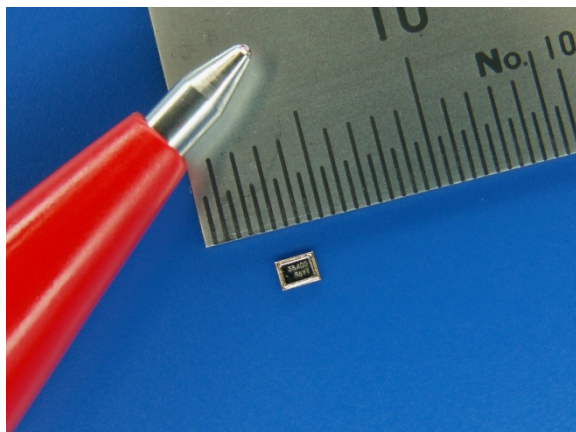


当社グループは水晶振動子と水晶発振器に製品を絞り込んでいる



※ は当社グループで製造・販売をしている水晶デバイス

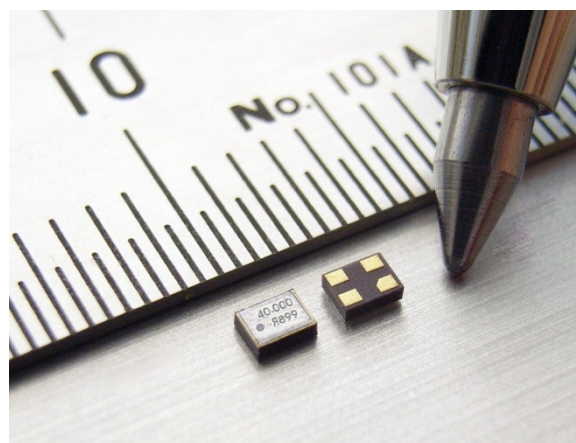
※ SMD: Surface Mount Device



世界最小
水晶振動子

FCX-07L

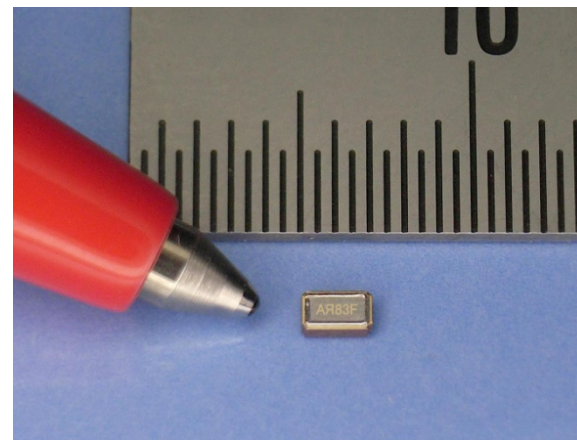
(1.6×1.2×0.35mm Max.)



世界最小
水晶発振器

FCXO-07

(1.6×1.2×0.7mm Max.)



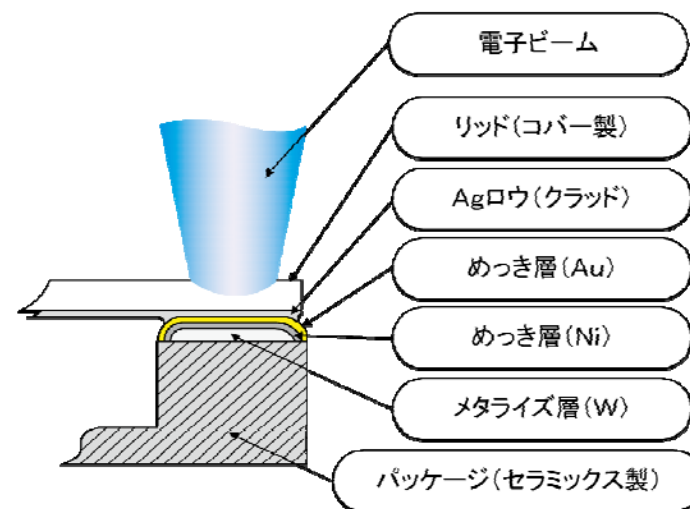
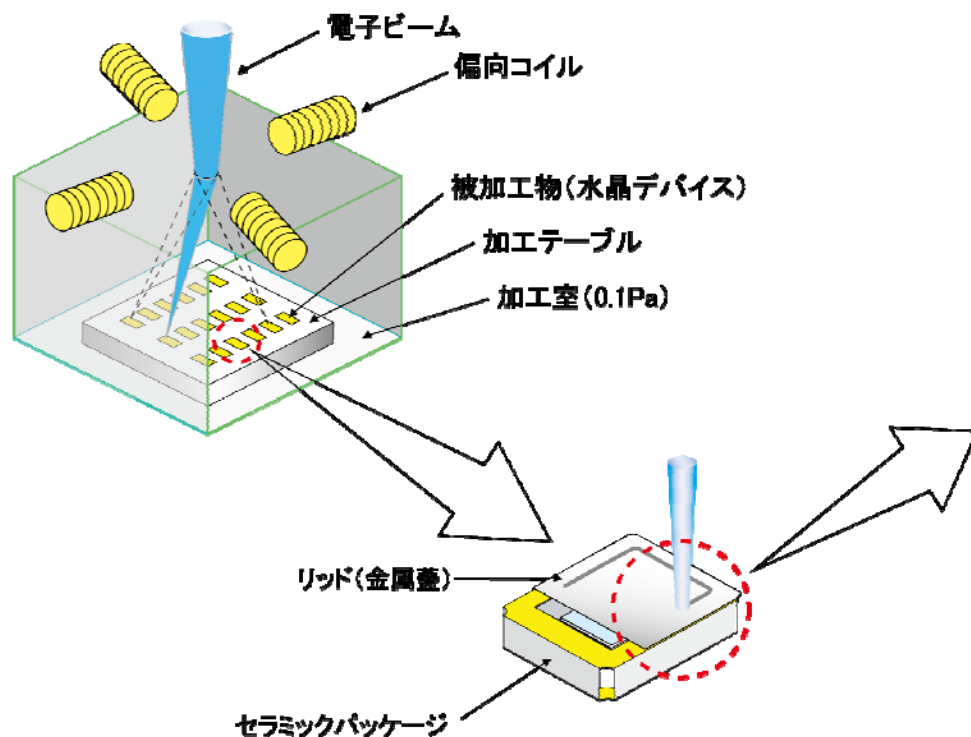
世界最小
音叉型水晶振動子

TFX-03

(2.0×1.2×0.6mm Max.)

**電子ビーム封止工法等の独自技術を生かし、
超小型分野へ先行開発・先行投入**

セラミックパッケージのなかに水晶片を取り付けた後、金属蓋を電子ビームで溶融接合する気密封止工法。従来からある一般的な封止工法よりも製品の小型化が可能となっている。また、局所加熱による水晶片への熱ダメージの抑制、真空封止による信頼性等優れた点が多く、低コスト化も実現している。



《注意事項》

本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。



リバーエレテック株式会社
(JASDAQ、証券コード6666)
<http://www.river-ele.co.jp/>
総務部経営企画課
TEL 0551 (20) 1277